

せりがやの輝く「蒼空」の下「風爽」かおる「丘陵」にたたずむ「陽溜」

せりがやの丘陵

町田二中拠点グループ拠点校
町田第二中学校
サポートルームだより
第18号 2023年1月

3学期の予定

来年度のサポートルームの利用について、1月末から手続きを開始します。

【生徒のみなさんへ】

昼休み又は放課後の時間帯を利用して面談を行い、来年度の利用についての確認を行います。

【保護者の方へ】

継続希望の場合、例年通り確認書の提出をお願いいたします。（電話にて御案内いたします。）

コラージュ川柳

2学期最後の授業で、生徒&教員6人によるコラージュ川柳大会を行いました。新聞や広告の中からお題に沿って適当な言葉を見付け、ハサミで切って「五・七・五」の形にしていくという単純なものなのですが、これが意外と難しく、一句作るのに30分以上かかります。なにしろ言葉のセンスが問われますので、皆「本気」です。



お題「冬」

- A 資本主義 送料無料 手放せない(冬?)
- B 明け初めて お腹の脂肪 5kg!!
- C 乾燥し ハリと潤い 失意の際
- D 北の風 ダウンをしのぐ 温暖化
- E **つかみとる** **しゃぶしゃぶ** **ウルトラ** **お買い得**
- D 伝説の 北日本 雪が降る

🏆大賞は生徒Eさんの作品でした！！

年明け、「お正月に家族全員でコラージュ川柳をして盛り上がった」と報告しに来てくれた生徒も(複数)いました。特別支援教育の自立活動はある意味「実学」ですので、生徒たちが学校での学びを家庭内で実践しているのは嬉しいことですし、それがわたしたちの目指すところでもあります。

コラム「非認知能力について」其の壱

サポートルーム町田二中拠点グループ主任
主幹教諭 最上 学（声楽家・公認心理師）

近ごろ、「非認知能力」という言葉をよく耳にするようになりました。近年の教育の世界におけるキーワードですが、教育の場を超えて広く社会の中に浸透しつつあると言ってよいでしょう。それだけに誤用されることも多いことから、2回に分けて「非認知能力」についてお話させていただきます。

【非認知能力とは】

おさらいです。まず「認知能力」ですが、これは数値化できる能力のことです。学力テスト、知能テストなどがそれに当たります。一方「非認知能力」とは、それ以外の全てで、協調性、忍耐力、コミュニケーション力など数値化できない能力のことを言います。（実際には、「非認知能力とは何か」と明確に定められているわけではありません。）

【なぜ大切なのか】

非認知能力は、言い換えれば「社会生活を営む上で必要な力」です。大人になって自立し生きていくために必要なのは、「やりぬく力」とか、「社交性」とか「創造性」とか、非認知能力です。だから非認知能力は大切なのです。

【正しい理解を】

しかし、何事もそうですが、ある言葉が広まるとやがて言葉だけがひとり歩きを始め、誤った解釈をされるようになるものです。非認知能力についても同じです。特に以下の2点については注意が必要です。

～認知能力<非認知能力??～

ともすれば「生きていく上で大切なのは非認知能力なのだから、勉強なんかできなくてもいい」と考えてしまいがちですが、これは間違いです。認知能力と非認知能力はどちらが上というわけではなく、むしろ相関関係があると言われていています。

～非認知能力は幼児期までに身に付けるもの??～

実際に「乳幼児期に非認知能力を身に付けた子が大人になって豊かになった」という報告がありますが（ペリー就学前プロジェクト）、だからといって非認知能力が乳幼児期にのみ育まれるというわけではありません。このコラムでも以前お話したように、人間の脳は20歳前後までは成長しますので、中学生や高校生だっていくらでも非認知能力を身に付けることが可能なのです。

それでは、どのようにして非認知能力を身に付けていくのか。それは次回のお話で。